

# 地域と学ぼう

山形大学地域教育文化学部

学校の先生方は同じような悩みを持っているようだ。「英語を教えたこともないし、カリキュラムもまだ決まっていないのに、どのように教えればいいのか？」

皆さんはどう思いますか？ まずは自分が子どもの時に、日本語を身につけたことを思い出してください。覚えるには、まず、基礎づくりをしつかりやりましたね。「あいさつ」「よく使う言葉や言い回し」「簡単な文法」「たぐさんの単語」などを理解して、覚えることが大切でした。英語も同様だと思います。特に小学生は、「実用的」「総合的」な「面白く学べる」レッスンが良いかもしれません。「実用的」という意味で

## 英語教育 ジェリー・ミラー 准教授

は、自分、家族、学校などいろいろな身近なテーマを取り上げるというでしょう。でも、何度も同じ学び方だと飽きてしまいます。その場合は、「総合的」に教えたいといいたいでしょう。具体的には「聞く」「読む」「書く」「話す」の4技能を用いながら、練習する

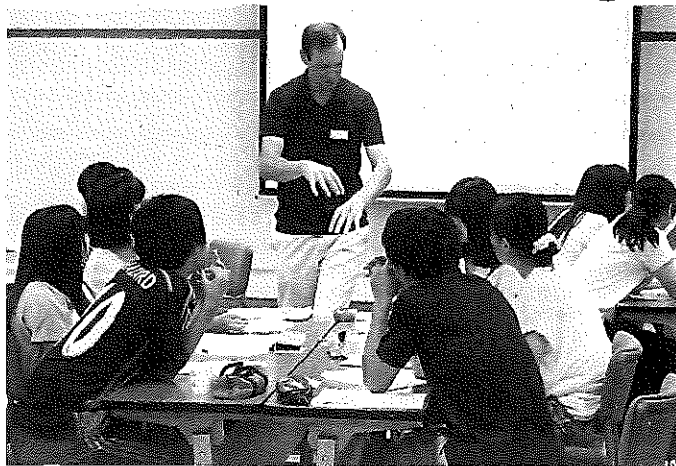
いいと思います。例えば「How are you?」を学ぶときのことを考えてみましょう。始めに、本を読み上げて、英語の音を聞かせてあげて、黒板に書いて、子どもたちに声を出して読ませるようになります。そして、その言

葉をノートに書かせてください。最後に書いた内容を、子どもたち同士で話し合わせてみましょう。このように同じ一つの文も、自然に学ぶことができます。外国語は毎日少しずつ、続けていくことが大切なので、教員は「先生」というよりも「応援団」や「サポ

# 英語、失敗恐れず楽しもう



▽米ニュージャージー州出身。山形大着任は2002年。



ーター」になることが大事です。ミスは優しく直しましょう。前向きな考え方を育て、失敗も怖がらないようにしてあげましょう。このように、身近なテーマを取り上げて上記4技能に満遍なく取り組み、子どもたちを励ましていけば、皆英語好きになると思います。

11月1回掲載します

高校生に大学の講義を体験してもらおう山形大のアカデミックキャンプで、英語の指導法を学ぶ参加者。昨年8月、山形市・同大小白川キャンパス